

養成する人材像

人文社会科学研究科全体

グローバル化や少子高齢化、情報化といった急激な社会の変化の中、労働市場や産業・就業構造の流動化によって将来予測が困難な時代を生き抜くために、高度専門職業人又は研究者として、「人間性」や「社会システム」の視点から、人間と社会が抱える複雑かつ多様な課題を学問的に分析できる能力及び創造的かつ実践的な解決策を提案し得る能力を身に付け、持続可能な社会の実現に貢献することができる人材を養成する。

法・政治学専攻修士課程

法学又は政治学に関する広範な専門知識、思考方法及び問題解決方法を修得して、その知識や方法を活かして、ますます高度化・複雑化する課題の解決に有効な提言をできる者として、あるいは国際政治や国際関係の視点から国際的諸問題の解決に貢献できる者として、行政機関、企業の法務部門及び国際協力等の場において活躍できる人材並びに税理士や司法書士等の専門職に就く人材を養成する。

学位授与の方針（DP）

- DP1【共通】：研究に従事する者として、法令を遵守し、高い倫理観を持って行動することができる
- DP2【共通】：高度な研究手法を身に付け、主体的に研究活動を行うことができる
- DP3【共通】：自らの研究成果を文章および口頭により、説得力ある言葉で他者に的確に説明することができる
- DP4【共通】：グローバルな視点や学際的な視点から現代社会に生起する諸課題を理解し分析することができる
- DP5【専攻共通】：法学及び政治学と実社会との関わりについて、自らの意見を確立し、それを他者に論理的に説明することができる
- DP6【専攻共通】：法学及び政治学に関わる国際的諸問題に関心を持ち、自らの研究を問題解決に活かす姿勢や意欲を有している
- DP7【法学領域】：法学に関する高度かつ体系的な専門知識を有している
- DP8【法学領域】：法的かつ論理的な思考能力及び分析能力を有している
- DP9【法学領域】：現代社会における法的な課題を発見することができる
- DP10【法学領域】：法的思考能力及び分析能力に基づき、法的な課題に対して理論的かつ実践的な解決策を提案することができる

教育課程編成・実施の方針（CP）要点＜まとめ＞

学位授与の方針（DP）

		研究者基礎力養成科目群	研究を遂行する上で必要となる基礎力を身に付ける	DP1～DP3
研究科共通 科目		現代的課題科目群	現代社会に生起する多様な諸課題に関する学際的知識を身に付ける	DP4
		留学生支援科目群	外国人留学生の日本語による論文執筆能力を向上させる	DP3
		教職支援科目群（自由科目）	中等・高等教育現場における諸課題について思考する能力を身に付ける	DP4
		「法学研究基礎」「政治学研究特論」	・法学領域の実践的研究方法を身に付ける ・隣接領域である政治学特有のもの（見方（基礎的な見方））を身に付ける	DP1・DP2 DP5・DP6
専攻固有科目	総合科目	外書、公法、民事法、刑事法、企業法、社会法、国際法、基礎法、租税法、新領域科目群	・外書科目群は、主に研究者を目指す学生を対象として法律に関わる外国語文献を正しく読み理解する能力を身に付ける ・その他の科目群は、学生自らの専門分野及びその周辺領域を中心に履修をすることで、法的な課題を見出し、解決策を提案するための専門知識や法的思考能力・分析能力を身に付ける	DP7～DP10
		研究指導科目群	研究指導教員が、修士論文（又は特定課題についての成果レポート）の作成に直結する指導を行い、学生は研究の成果物としての修士論文（又は特定課題についての成果レポート）を完成する	DP1～DP4 DP5・DP6 DP7～DP10
		論文執筆指導科目群	研究指導教員以外の教員が副指導教員として、修士論文（又は特定課題についての成果レポート）執筆のための補完指導を行い、学生は研究の成果物としての修士論文（又は特定課題についての成果レポート）を完成する	DP1～DP4 DP5・DP6 DP7～DP10
	政治学領域科目	日本政治、公共政策、国際関係、国際開発、地域研究科目群	学生は目標とする進路や研究内容に応じて、隣接領域である政治学の専門知識を身に付ける	DP4 DP5・DP6
修士論文又は特定課題についての成果レポート、最終試験（口頭）		「中京大学大学院人文社会科学研究所修士学位申請及び審査に関する内規」に定める修士論文等の審査基準を満たしている		DP1～DP3 DP8～DP10

入学者受入れの方針（AP）

- （知識・技能） AP1【共通】 論理的な文章を作成する能力を有している
- （思考力・判断力・表現力） AP2【共通】 一定の根拠に基づいて自らの判断で物事を考え、自らの意見を形成することができる
- AP3【共通】 自らの問題意識を研究計画書等に整理してわかりやすく他者に伝えることができる
- （意欲・態度） AP4【共通】 研究に真摯に取り組み、社会に貢献する志を有している
- AP5【共通】 研究課題について、主体的に研究を遂行する意欲を有している
- AP6【共通】 研究に携わる者として必要不可欠な倫理観を有している
- AP7【共通】 専門領域に限定せず、現代社会に生起する諸現象、諸課題に深い関心を有している
- （知識・技能） AP8【法学領域】 条文の解釈や判例の読み方といった法技術的な知識を有している
- AP9【法学領域】 一般学生は、学士水準の法学の体系的・専門的な知識を身に付けている
- AP10【法学領域】 外国人留学生は、日本語能力試験 N1 レベル又はそれに準ずる日本語能力を有している
- AP11【法学領域】 社会人学生及び外国人留学生は、日本の法律制度に関する基本的な知識を有している
- AP12【法学領域】 税理士志望の学生は、学士水準の税法に関する知識を身に付けている
- （思考力・判断力・表現力） AP13【法学領域】 法の内容それ自体に対する批判的な見方を可能にする分析力及び思考力を有している
- AP14【法学領域】 現代社会における法的な課題について問題意識を持ち、それを他者に説明する能力を有している
- AP15【法学領域】 社会人学生及び外国人留学生は、これまでの学修歴や社会的経験を法学と関連づけて思考し、法学分野における新たな問題を発見する能力を有している

**養成する人材像**

**人文社会科学研究科全体**

グローバル化や少子高齢化、情報化といった急激な社会の変化の中、労働市場や産業・就業構造の流動化によって将来予測が困難な時代を生き抜くために、高度専門職業人又は研究者として、「人間性」や「社会システム」の視点から、人間と社会が抱える複雑かつ多様な課題を学問的に分析できる能力及び創造的かつ実践的な解決策を提案し得る能力を身に付け、持続可能な社会の実現に貢献することができる人材を養成する。

**法・政治学専攻修士課程**

法学又は政治学に関する広範な専門知識、思考方法及び問題解決方法を修得して、その知識や方法を活かして、ますます高度化・複雑化する課題の解決に有効な提言をできる者として、あるいは国際政治や国際関係の視点から国際的諸問題の解決に貢献できる者として、行政機関、企業の法務部門及び国際協力等の場において活躍できる人材並びに税理士や司法書士等の専門職に就く人材を養成する。

**学位授与の方針（DP）**

- DP1【共通】：研究に従事する者として、法令を遵守し、高い倫理観を持って行動することができる
- DP2【共通】：高度な研究手法を身に付け、主体的に研究活動を行うことができる
- DP3【共通】：自らの研究成果を文章および口頭により、説得力ある言葉で他者に的確に説明することができる
- DP4【共通】：グローバルな視点や学際的な視点から現代社会に生起する諸課題を理解し分析することができる
- DP5【専攻共通】：法学及び政治学と実社会との関わりについて、自らの意見を確立し、それを他者に論理的に説明することができる
- DP6【専攻共通】：法学及び政治学に関わる国際的諸問題に関心を持ち、自らの研究を問題解決に活かす姿勢や意欲を有している
- DP7【政治学領域】：政治学に関する高度かつ体系的な専門知識を有している
- DP8【政治学領域】：政治的かつ論理的な思考能力及び分析能力を有している
- DP9【政治学領域】：現代社会における政治的な課題を発見することができる
- DP10【政治学領域】：政治的思考能力及び分析能力に基づき、政治的な課題に対して理論的かつ実践的な解決策を提案することができる

**教育課程編成・実施の方針（CP） 要点<まとめ>**

			学位授与の方針（DP）	
研究科共通 科目	研究者基礎力養成科目群	研究を遂行する上で必要となる基礎力を身に付ける	DP1～DP3	
	現代的課題科目群	現代社会に生起する多様な諸課題に関する学際的知識を身に付ける	DP4 DP5・DP6	
	留学生支援科目群	外国人留学生の日本語による論文執筆能力を向上させる	DP3	
	教職支援科目群（自由科目）	中等・高等教育現場における諸課題について思考する能力を身に付ける	DP4	
専攻固有科目	総合科目	「政治学研究基礎」「法学研究特論」 ・政治学領域の実践的研究方法を身に付ける ・隣接領域である法学特有のものの見方（基礎的な見方）を身に付ける	DP1・DP2 DP5・DP6	
	政治学 領域 科目	外書、日本政治、公共政策、国際関係、国際開発、地域研究科目群	・外書科目群は、主に研究者を目指す学生を対象として日本政治又は公共政策分野の外国語文献を正しく読み理解する能力を身に付ける ・その他の科目群は、学生自らの専門分野及びその周辺領域を中心に履修することで、政治的な課題を見出し、解決策を提案するための専門知識や政治的思考能力・分析能力を身に付ける	DP7～DP10
		研究指導科目群	研究指導教員が、修士論文（又は特定課題についての成果レポート）の作成に直結する指導を行い、学生は研究の成果物としての修士論文（又は特定課題についての成果レポート）を完成する	DP1～DP4、DP5・DP6 DP7～DP10
		論文執筆指導科目群	研究指導教員以外の教員が副指導教員として、修士論文（又は特定課題についての成果レポート）執筆のための補完指導を行い、学生は研究の成果物としての修士論文（又は特定課題についての成果レポート）を完成する	DP1～DP4、DP5・DP6 DP7～DP10
	法学領域 科目	外書、公法、民事法、刑事法、企業法、社会法、国際法、基礎法、租税法、新領域科目群	学生は目標とする進路や研究内容に応じて、隣接領域である政治学の専門知識を身に付ける	DP4 DP5・DP6
修士論文又は特定課題についての成果レポート、最終試験（口頭）		「中京大学大学院人文社会科学研究科修士学位申請及び審査に関する内規」に定める修士論文等の審査基準を満たしている	DP1～DP3 DP8～DP10	

**入学者受入れの方針（AP）**

- (知識・技能) AP1【共通】 論理的な文章を作成する能力を有している
- (思考力・判断力・表現力) AP2【共通】 一定の根拠に基づいて自らの判断で物事を考え、自らの意見を形成することができる
- AP3【共通】 自らの問題意識を研究計画書等に整理してわかりやすく他者に伝えることができる
- (意欲・態度) AP4【共通】 研究に真摯に取り組み、社会に貢献する志を有している
- AP5【共通】 研究課題について、主体的に研究を遂行する意欲を有している
- AP6【共通】 研究に携わる者として必要不可欠な倫理観を有している
- AP7【共通】 専門領域に限定せず、現代社会に生起する諸現象、諸課題に深い関心を有している
- (知識・技能) AP8【政治学領域】 一般学生は、学士水準の政治学の体系的・専門的な知識を身に付けている
- AP9【政治学領域】 外国人留学生は、日本語能力試験 N1 レベル又はそれに準ずる日本語能力を有している
- AP10【政治学領域】 社会人学生及び外国人留学生は、現代の日本や世界が抱える政治的な課題について、政治史・政治理論、政治思想等の観点から説明できる基本的な知識を有している
- (思考力・判断力・表現力) AP11【政治学領域】 政治の内容それ自体に対する批判的な見方を可能にする分析力及び思考力を有している
- AP12【政治学領域】 現代社会における政治的な課題について問題意識を持ち、それを他者に説明する能力を有している
- AP13【政治学領域】 社会人学生及び外国人留学生は、これまでの学修歴や社会的経験と政治学を関連づけて思考し、政治学分野における新たな問題を発見する能力を有している